

## タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して

日 時 平成27年7月12日（日）午後1時30分～3時  
会 場 江川分館（東久保町会）  
天 気 くもり  
参加者 25人



### 主な意見等

参加者 三点ほどお話しをさせていただきたいと思います。一点目は、今回、初めてタウンミーティングに参加をして市長自らが市の概要や政策等について説明されていたことに大変驚き感激しました。説明の中で市政方針に対する進捗状況等の説明が細かくされていて良く理解が出来ました。

二点目は、説明の中で経常収支比率が改善されているとの説明がありましたが、決算の際には民間のように貸借対照表を作成する必要があると考えます。支出の全てが経費的ではなく、建設費などは資本的支出とも解釈できるため、貸借対照表を作成することにより本当の意味での財政状況の把握が可能になると考えます。

三点目は少子高齢化対策について、このタウンミーティングの参加状況もそうですが、地域での活動等に若い方の参加が非常に少ないと感じています。そこで高齢者の方をうまく活用し、若い方に対し地域での活動に参加するよう働きかけを行うことや、子どもを出産しやすい環境づくりをさせるなど、地域の高齢者への協力を積極的に行うべきです。これにより、若い方の転入も増加するのではないかと考えます。

市 長 合併以前にも上福岡市でタウンミーティングと似た取り組みを実施していましたが、市の概要や政策等の説明は部長職の職員が行っ

ておりました。しかし、私は自らが説明することにより、市民の皆様から大変貴重なご意見をいただけるとともに、市の若手職員に私の姿勢を学んでもらいたいと考え実施しております。また、本日も市の職員が自主的に参加をしております。

決算書につきましては、貸借対照表及び行政コスト計算書も作成しており、公表をしている状況です。ただし、民間が作成する貸借対照表とコスト計算書の項目全てが一致するものではありません。ご指摘のとおりで全てが経費的支出ではなく資本的支出又は投資的支出もあると認識しております。

若い方の転入についてですが、西地域のNTT跡地に建設されたマンションは建設当初、入居者が増えない状況がありました。しかし、学区である三角小学校の大規模改造工事を行ったところ、入居者が増え満室となりました。このように、若い世代の方にとっては、お子様を通わせる学校が大変重要であることが分かります。本市は合併市であるため合併特例債を有効活用し、小中学校の大規模改造工事を進めており、学校環境の改善を図っております。

また、人間関係が希薄になっている現代、ご高齢の方々には地域で若者から一目をおかれる存在になっていただきたいと考えております。これにより若い方との交流を深め地域での活動を活発にさせていただくとともに、子どもを産みやすい環境、子育てをしやすい環境を作り上げていただきたいと考えております。さらに、転入者を増やすだけでなく、このまちで子どもを産みたいと思っただけのように、本市に住む11万人の市民の皆様とあったかいまちふじみ野市をつくりあげていきたいと考えております。

参加者 エコパについてですが、バーデプール内に時計の設置と、サウナの温度を現在の62度から80度まで上げていただけないでしょうか。また、大井総合福祉センターには卓球台を設置していただけないでしょうか。

市長 エコパのバーデプール内への時計設置及び大井総合福祉センターへの卓球台の設置につきましては、所管課へ要望があった旨を伝えさせていただき、可能な限り対応いたします。エコパのサウナの温度につきましては、安全性を考慮した低温サウナとして運営をしているため現在の温度でご理解ください。

参加者 市議会議員の定数についてですが、ふじみ野市も富士見市と同様の定数に削減し、その分の報酬を現在無報酬で活動されている町会・自治会長に支払った方が良いのではないのでしょうか。また、以前のタウンミーティングで市長は、今後、東武東上線沿線の和光市までを範囲として合併する可能性があると言明されていましたが、現実性を教えてください。

市長 ふじみ野市の市議会議員の定数は富士見市と同様の21名です。合併以前は上福岡市で24名、大井町で20名でしたが、議会で議員数の見直しを行い、その結果21名となりました。これも合併の効果の一つと言えます。

合併の実現性につきましては、今後、国からの地方交付税が削減されることが想定される中で、老朽化が進んでいる公共インフラを維持して行くためには、行政効率の向上が必要となります。そこで南西部地域の広域合併が有効な手段の一つとして挙げられます。ただし、これは近年に行われるものではなく、手法の一つとして挙げられるといった状況です。

参加者 合併して10周年を迎えますが、市民感情には未だに西地域、東地域各々の強い思いが残っている状況があります。公共施設の統廃合を実施するなど一体感を図っていかねばならないのではないのでしょうか。

また、後期高齢者医療保険の保養施設の宿泊利用補助についてですが、国民健康保険では年に2回補助されるのに対し、後期高齢者医療保険では年に1回のみです。保養施設を利用し温泉に入ることでも高齢者の健康増進に繋がるため補助回数を増やしていただけないのでしょうか。

市長 公共施設の統廃合については、大変難しい問題であると考えております。合併市として行財政改革を進めるためには市に二つある同様の施設を統廃合することが必要ですが、公共施設は本来、市役所の所有物ではなく、市民の皆様からの意見を尊重したいと考えております。また、私は以前消防団の団長をしておりましたが、合併後も分

団名に旧市町の名称が残っておりました。しかし、現在の消防団員自らが、名称を統一しようと声が上がり、変更した状況があります。このように、市民の皆様から自発的に意見が出ることを期待しております。

参加者 本日のタウンミーティングや市政への提案等では、市民からの意見が市長まで届いていますが、反対に、市長から市民に対し要望や意見があればお話ししていただけないでしょうか。

市長 そのような意見を頂戴しお礼申し上げます。市長の立場として市民の皆様に対し要望や意見をすることは、市民の皆様それぞれで違った捉え方があるため難しい状況がありますが、市民の皆様が市民同士で西地域、東地域の区分けや認識をやめようと自発的な意見が増えることを期待しております。

参加者 防災訓練について、東久保町会は避難場所が亀久保小学校に指定されていますが、町会数が多く体育館が人で溢れている状況です。実際に災害が発生した際には避難者が入りきれぬのか不安です。その一方、亀久保小学校近くの大井東中学校では指定されている町会数が少なく、体育館が空いている状況です。これまでも、危機管理防災課へ要望していますが改善していただけないでしょうか。また、防災訓練の内容についても、避難所に参集するだけで終了しているので、訓練内容を増やすなど工夫していただけないでしょうか。

市長 大井東中学校は富士見市との境であるため富士見市との協定により、富士見市民を受け入れるため、避難所に指定する町会数を減らしていることが考えられます。しかし、改めて所管課の危機管理防災課へ、防災訓練の避難所での訓練内容を含めて確認をさせていただきます。